

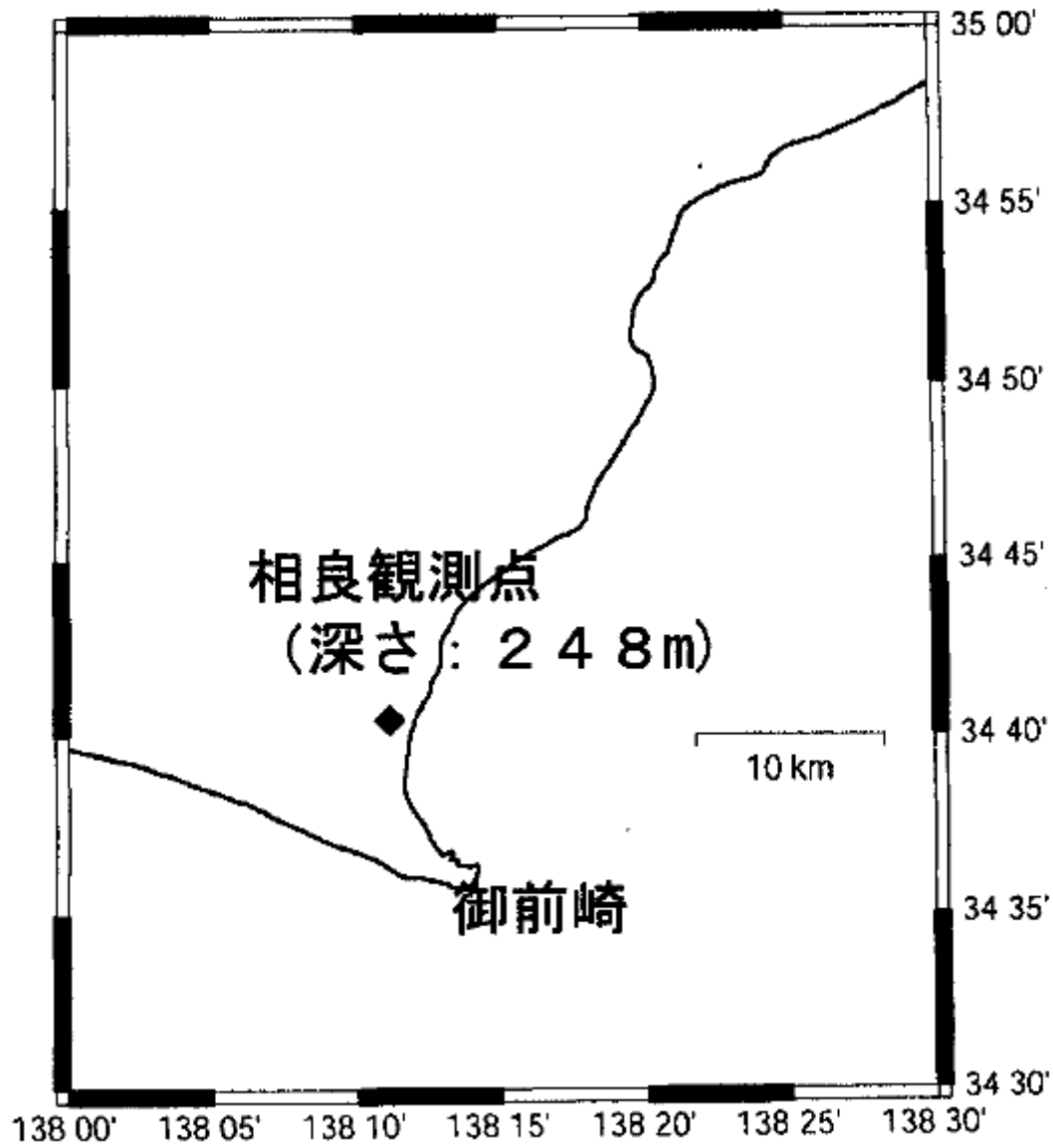
5-15 相良観測点における歪・傾斜観測（1995年10月～2001年10月）

Continuous Strain and tilt observation at Sagara station in the period from October 1995 to October 2001

東京大学地震研究所
地震地殻変動観測センター
Earthquake Observation Center
The University of Tokyo

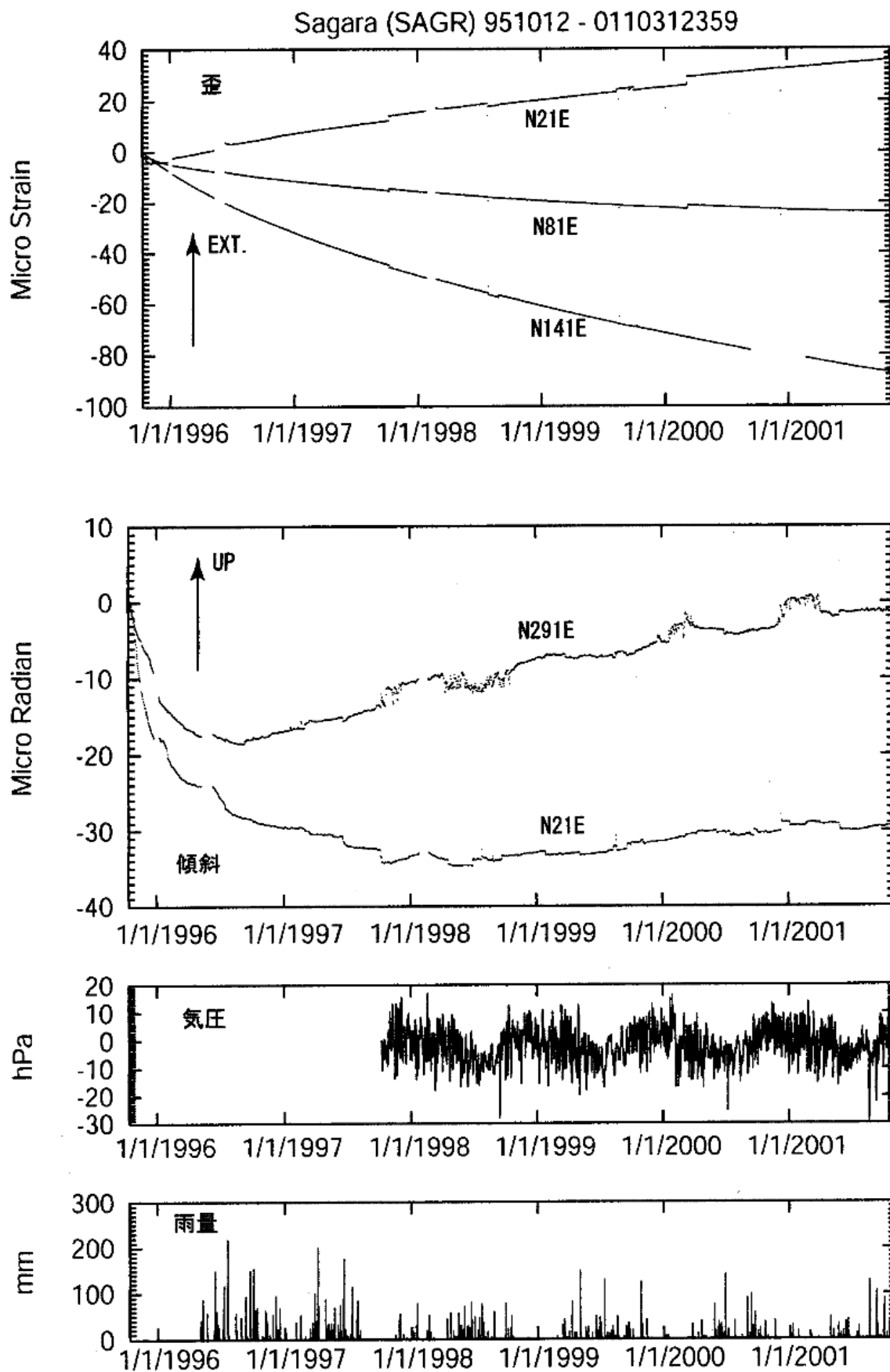
東京大学地震研究所では1995年10月12日より静岡県相楽町にある静岡県の相良地殻変動観測施設の敷地を借用し、深さ248mに設置された地殻活動総合観測装置により歪・傾斜の観測を行っている。第1図に観測点の位置を示す。第2図は観測開始からの歪、傾斜、気圧変化の日平均値と日雨量を示す。歪3成分は観測開始以来トレンドの変化はない。傾斜変化は1996年半ばと1998年はじめころにトレンドの変化が見られる。これは第3図の傾動ベクトル図を見てもわかる。最近では西南西方向への傾動が観測されている。第4図は主歪の時間変化を示したものである。

現在のところトレンドの異常変化は見られない。さらに小さな変動を議論するためには年間 $10E-6$ におよぶ変化をモデル化し除く必要がある。現在モデルについて検討中である。



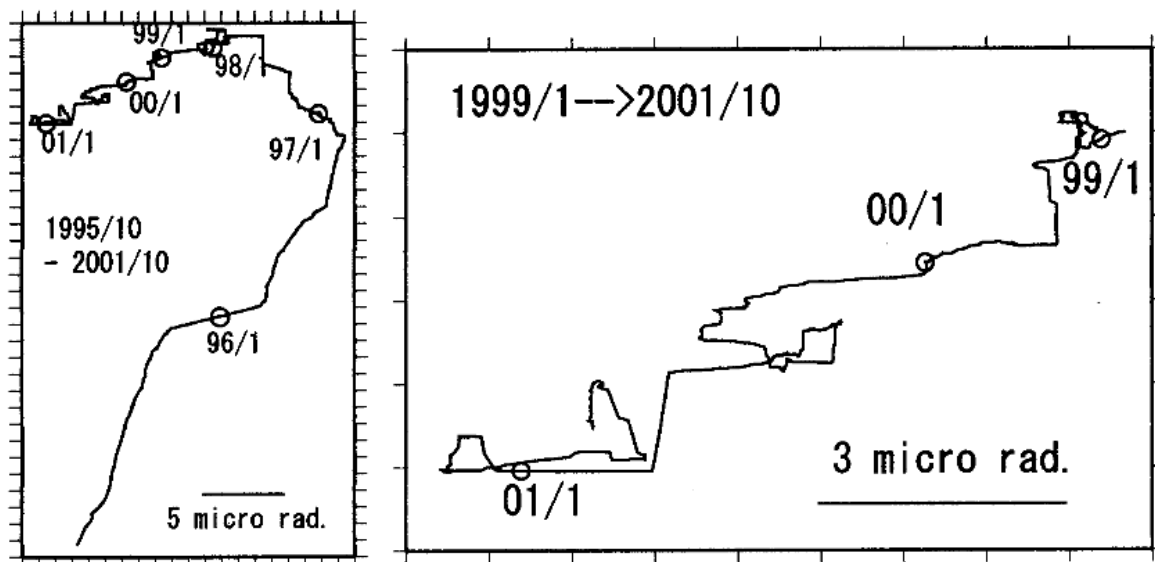
第1図 観測点位置図

Fig.1 Location map of Sagara station.



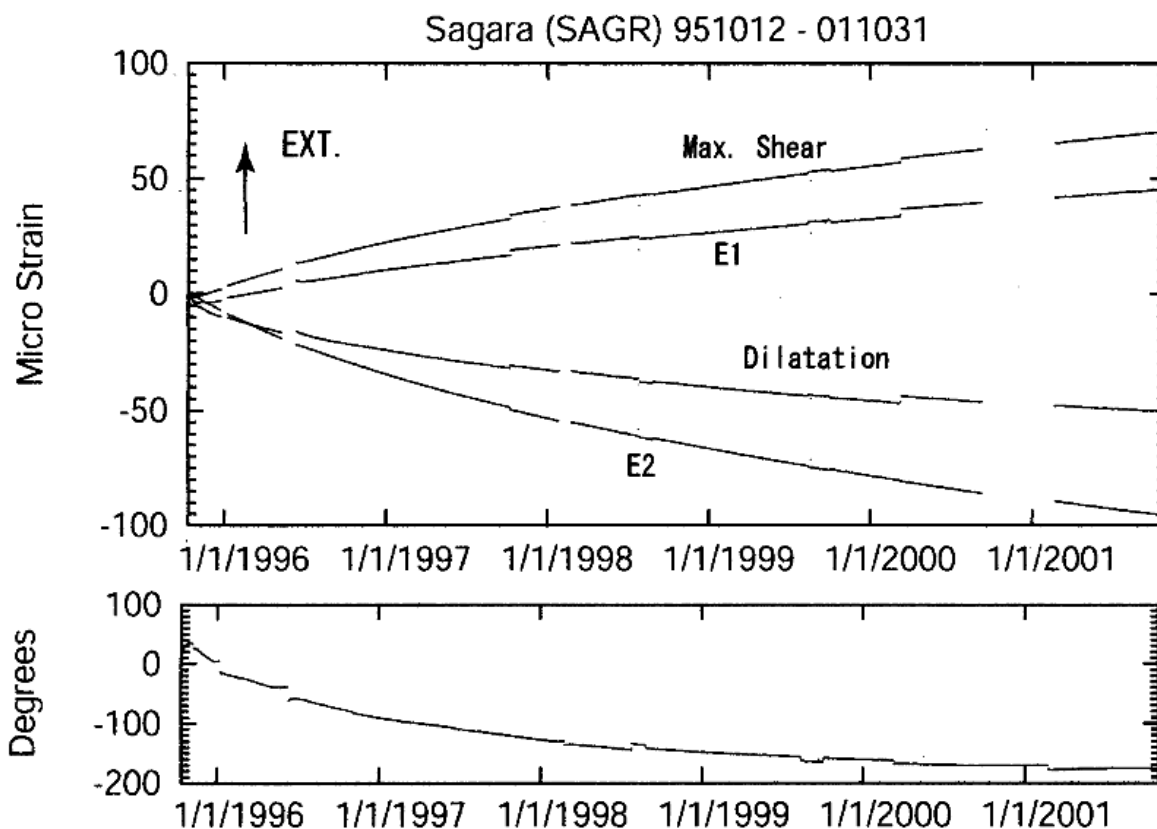
第2図 相良観測点に設置された地殻活動総合観測装置で観測された歪，傾斜，気圧の日平均値と日雨量（1995年10月～2001年10月）。

Fig.2 Daily average of strain, tilt, atmospheric pressure change observed by and daily precipitation in the period from October 1995 to October 2001.



第3図 傾斜ベクトル傾動図。左：1995年10月から2001年10月まで。右：1999年1月から2001年10月まで。

Fig.3 Tilting vector. (Left) from October 1995 to October 2001. (Right) from January 1999 to October 2001.



第4図 主歪の時間変化。1995年10月～2001年10月。下段はE1の方向を北から班統計回りにかかった角度を示す。

Fig.4 Time series of principal strain in the period from October 1995 to October 2001 (Upper). The direction of the E1 principal strain observed from north to east.